

# WAM通信

Women and Men Press

いつでもあなたといっしょ  
 平成26年7月  
**45号**  
 読んでくださいWAM通信

## — 女性と芸術 —



### INDEX

- 01 特集 女性と芸術
- 04 ローズWAMをよろしく
- 05 WAMからのお知らせ WAM百景
- 06 Book Guide



(写真左から 田村美紀さん 藤本 絢子さん 石石みやこさん)  
 ◆ WAM通信45号の表紙の絵は、  
 藤本 絢子さん(写真中央)の作品です。

### ★ 案内 ★

【開所時間】午前9時～午後10時  
 (交流サロン・ネットワークギャラリーの利用は、  
 午後7時まで)

◆ 会議室・ホールを借りる (窓口受付のみ)  
 予約受付時間：午前9時～午後5時  
 利用時間：午前9時～午後9時30分

【休 所 日】毎週火曜日、平成26年8月25日(月)  
 平成27年2月23日(月)  
 年末年始の休所日12月28日(日)～翌年1月4日(日)

ホームページアドレス  検索

<http://www.rosewam.city.ibaraki.osaka.jp/>



Twitter



Facebook

★ワムワム  
 よりみちトーク  
 8/28,10/23,  
 2/26 **要予約**  
 午前10時～正午

★仕事なんでも  
 相談 (男性可)  
 最終木曜日  
 午後1時～4時

★女性面接相談  
 ★DV面接相談  
**どちらも要予約**  
 月～土曜日  
 午前10時～午後4時

★女性法律相談  
 (女性のみ) **要予約**  
 第3木曜日  
 第3土曜日  
 ※8月・3月は第2土曜日  
 午前9時30分～正午

★専門家による  
 女性の生き方・自立相談  
 (女性のみ)  
 第2木曜日 ※8月のみ第1木曜日  
**要予約**  
 午後1時～4時

★DV・  
 恋人同士のつきあい・  
 (性)暴力の悩み  
 電話相談 (女性のみ)  
 専用電話 622-5757  
 月～土曜日  
 午前10時～午後4時

★女性電話相談  
 ☎ 621-0892  
 月～土曜日  
 午前10時～午後4時

★男性のための電話相談  
 ☎ 620-9920  
 第3・4水曜日  
 午後6時30分～9時30分

## WAM相談

予約電話番号 **072-620-9920**  
 ●相談無料 ●一時保育あり(有料・要予約)  
 ※いずれも火曜・日曜・祝日は除く

### 編集つれづれ

メンバーに感謝、チームワークで作りました(ゆきせいごん)  
 「自分らしさ」を知っている人は輝いていますね(M)  
 携わってくださった全ての人に感謝(A4H)  
 何事もコミュニケーションが大切だと感じています(ito)  
 観る人にエネルギーを与える、芸術の力は無限ですね(涼葉)

◆表紙「WAM通信」題字は茨木市在住 伏木千絵さんの作品です。



編集・発行  
 茨木市民文化部 人権・男女共生課  
 茨木市立男女共生センターローズWAM  
 〒567-0882 茨木市元町4番7号  
**TEL 072-620-9920**  
**FAX 072-620-9921**

駐車場は中央公園地下駐車場(有料)をご利用ください。



リサイクル適性

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

この冊子は4,000部作成し、1部当たりの単価は30.62円です。

# 私らしく あるがままに“アート”を楽しんで

～ 現代アートを通じて、キラキラ輝いている8人の女性アーティストにインタビューしました ～

**Q1** : なぜ芸術の道に進もうと思ったのか。現在どういう活動をされているのか。 **Q2** : 女性であるために活動上、困難なことや良かったこと。  
**Q3** : 芸術活動を通してこれからやってみたい夢・目指す姿。 **Q4** : これから芸術活動を始める全ての女性へのメッセージ。

## 私の「絵本」を 子どもたちの思い出の中に

絵本作家 口石みやこさん



タイトル『山帰来と木馬』アクリル、パステル：150×150mm 2014年

**A1** 高校3年生のときに、絵本の専攻がある専門学校の説明会に行きました。そこで先生が読み聞かせをしてくれたのですが、それがもう楽しくて「絵本作家になりたい」と心から思いました。今はデザインの専門学校を卒業し、アルバイトをしながら個展を開いたり、企画展に参加したりしています。

**A2** 特に感じたことはないです…強いて言うなら作品の納品時に、重くて運ぶのが大変なくらいかな(笑)。作品販売をしていると親子連れから「この本作った人ですか」と話しかけられたりして嬉しいです。女性だから話しかけやすいのかな。

でも、女性活動家って少ないんですね。気付いたら周りは男性ばかり。学生時代の美術部や専門学校では女性が多かったのに「今はもう描いてないんだ～」って友達多いですよ。女性だと結婚・出産と、おとなになるにつれ自由が利かなくなったり、「絵を描く＝趣味」というイメージがまだまだ日本にはあるのかな…。絵を描きたい気持ちを周りから押さえられて本人も気づかないうちにだんだん忘れてしまうのかもしれないです。



●プロフィール  
 絵本作家、1989年生まれ。茨木市在住。2009年大阪総合専門学校デザイン専門学校絵本専攻卒。京都・大阪を中心に作家活動をしている。猫が主人公の絵本や動物や植物のイラストを描いている。

「絵を描く＝仕事」としてより広く認識されれば、女性作家ももっとたくさん活躍できると思います。

### 美大進学率

男性：35% 女性：65%

### 芸術分野就業率

男性：56% 女性：44%

(国立東京藝術大HP/総務省統計局国勢調査H22データから)

**A3** 今は製本も自分でしていますが、いつか出版社から出せるようになりたいです。たくさんの子供たちに読んでほしい。そして「小さい頃に読んだんだよ。」って語り継いでもらえる作品ができれば…。思い出の中に私の作品があれば嬉しいです。

**A4** 「継続は力なり」という言葉を大切にしています。時間はかかっても諦めずに続ければ、夢にたどり着けると信じています。

## 生涯、プロの作家で あり続けたい

美術作家 藤本絢子さん



タイトル『嘉月の鏡』キャンバス油彩：直径50cm 2014年

**A1** 幼少期から絵を描いたり、ものを作る事が好きでした。幼稚園の卒園文集に、平仮名で「げいじゅつか」と書いたのを覚えています。進路については美大在学中にかなり悩みましたが、小さい頃から抱いていた「美術を仕事にしたい」という気持ちと「自分の表現を極めたい」との思いから今に至ります。

現在は主に関西・関東を中心にギャラリーや、百貨店などの催事で個展・グループ展を開催し、主に油絵を展示販売しています。また年に一度程度は海外でのグループ展に参加しています。

**A2** 「女性芸術家」と、ひとくりにせず、もっと作品そのものをみてほしいとは思います。私自身、作品を作るときに性別は感じていませんし、作品に女性らしさを出そうとはしていません。2メートル近い作品を制作するときには、体力的に「男だったら…」と思う時はありますが(笑)。

ただ、いずれは家庭を持ち子育てもしたいので、それらと芸術活動を今後いかに両立させるかということの色々と考えています。



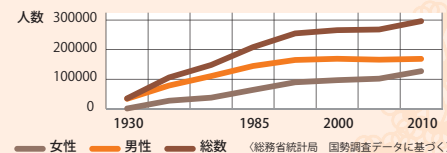
●プロフィール  
 1985年茨木市生まれ。2011年京都造形芸術大学修士課程修了。現在茨木市にアトリエを構え、主に油彩画を制作、国内外を問わず多数の個展、グループ展を開催している。近年では店舗の壁画制作、CDジャケットデザイン、油彩画をプリントデザインした浴衣が発売されるなど、その活動は多岐にわたる。

**A3** 生涯、自他ともに認めるプロの作家であり続けたいです。何をもってプロなのか、アマなのかは、人によって捉え方は違いますが、一般の方にも評論家にも認められるようになりたいです。辛口評論家をも黙らせるような(笑)。

そしていつか自分のあこがれの表現者の方々と同じ表現者として認めてもらい、人に元気を与える作品を作り続けたいですね。

**A4** 「上手なもの」を作らなくていいんです。その作品が見る人にとって素晴らしいければ素晴らしい、というのが芸術の姿だと考えます。気軽な気持ちで自由に芸術を楽しんでもらいたいですね。集中してなにかを作ろうとする行為そのものが尊いもの。その時間が楽しければ、素敵なことだし、豊かなものだと思います。

### 美術家・デザイナーの就業者数



発信 市民とともに男女共同参画  
～ みんなが参画 笑顔広がるローズWAM ～



ローズWAM  
所長  
富崎 敏

WAM (Women and Men) 女性と男性、だれもが性別にかかわらず、個性や能力が発揮できる「男女共同参画社会」の実現を目指す活動拠点として、平成12年(2000年)にオープンし、今年で15年目を迎えました。

当センターでは、女性も男性も共に学び高めあう講座や研修の実施、さまざまな悩みに寄り添う各種の相談、男女共同参画に関する資料の提供や情報発信、楽しい舞台でのイベントや活動などの各種の事業を200名以上の市民スタッフ・アシスタントのみなさんの参画を得て展開しています。また、ネットワークギャラリーや交流サロン、喫茶ぱーとなー等、だれもがお寄りいただける、市民の居心地の良い場所を目指しています。

どうぞ、ぶらりと足を運んでローズWAMにお越しください。スタッフ・アシスタント・職員一同、笑顔でお迎えます。そしてローズWAMでの体験や活動で笑顔になっていただき、ご家庭や地域にお伝えいただくことによって、笑顔の輪を広げていけたらと思います。



所長代理 中西 真由美

「男女共同参画?男女共生?とつきにくい」と思われる方が多いかもしれません。でも、けっして生活からかけはなれた難しい話ではないですよ。私自身、仕事・家事・育児と生活していく中で何かおかし、何かしんどいという時があります。そんな時“男女共同参画”の視点にたつと、そのしんどさの原因に気づき「ラクになる」、「元気が出る」といったことが多々あるように感じています。

女性も男性も子どももおとなも自分を大切に、気持ちよく生活するために。自分の持てる力を発揮して社会に貢献し元気に生きていくために。ぜひローズWAMに来て、いろいろと感じて、一緒に考えてみませんか。

ローズWAMが市民の皆さんの笑顔の源・元気の源になれば、こんなに幸せなことはありません。市民ボランティアとともに、そんな願いを持ってローズWAMを運営していきたいと思っています。ぜひご来館ください。

## 私らしく あるがままに“アート”を楽しんで

～ 現代アートを通じて、キラキラ輝いている3人の女性アーティストにインタビューしました ～

### アートで 人と人がつながる

#### マスキングテープ作家 田村美紀さん

**A1** もともと水彩画をやっていました。美大の卒業制作の時に、表現の幅を広げたいと色々な素材を試す中でマスキングテープに目が留まりました。思いのままに手を動かしたところ、素敵なグラデーションの「空」が出来上がったんです。感激でした。それ以来「マスキングテープ作家」という肩書で活動を続けています。作品は、はがきサイズの小さな物から、2mを超える壁画までいろいろあります。現在は、関西を中心に個展・ワークショップ・手作り市などのイベント等に出演しています。

**A2** まだキャリアも浅いので、あまり男女差は感じていません。アートに性別年齢は関係ないと思います。ただ、日本はアートに関して海外ほどの理解がなかなかないので、芸術活動だけで暮らしていくのは難しいですね。生活のため他に仕事をしながらの活動になるので、ダブルワークという点で体力的に大変です。



●プロフィール  
2011年京都嵯峨芸術大学卒業。  
2010年からマスキングテープを使ったちぎり絵を制作。関西を中心に個展、出張ワークショップを開催。2012年からフェリシモしあわせの学校講師としても活動中。



タイトル『春爛漫』  
画材 マスキングテープ、紙：サイズ148×105mm 2014年

もっと芸術活動をする上で公的なサポートがあればいいのには思います。

**A3** マスキングテープの魅力を、これからもたくさんの人に伝え、広めていきたいと思っています。身近な素材で何度でも貼って剥がしてやり直せるところが、マスキングテープ作品の魅力ですね。アートって難しい印象がありますが、身近にあるもので、簡単に親しむこともできるんです。私の作品を見てくださった誰かが、心なごんだり、元気になったりしてくれたら嬉しいです。これからも人と人の触れ合いを大切に、自分自身も成長していきたいと思っています。

**A4** 美術館のように特別なものだけがアートではないと思っています。身近にあるものでアートに親しみ、芸術を通して人と人とのつながりを大切に…。遠回りをしてでも自分のやりたいことに挑戦してほしいと思います。

## Woman Artist Meet ▶▶▶ HUB★IBARAKI ART COMPETITION

本誌にご登場頂いた3作家による、“女性”“アーティスト”そして“出会う、繋がる”をテーマにした展覧会とトークイベントを行います。お誘いあわせの上、ぜひローズWAMまで。

〈展覧会〉▶7/16(水)～19(土)▶10:00～18:00\*7/19は10:00～17:00 ▶会場：ローズホール  
作品展示とライブペインティング、絵本コーナーなど

〈トークショー〉▶7/19(土)▶14:00～15:00 ▶会場：ローズWAM エントランス  
参加作家：藤本絢子さん・口石みやこさん・田村美紀さん ゲスト：藤本富美子さん(声楽家)

ぜひ ネットワークギャラリーへ  
貸し出しもしていますよ。

### イラストと クラフトで手づくり ライフログノート

～日々のあれこれを記録する  
“わたしだけ”の採集帖

宇田川 一美【著】  
技術評論社  
出版年：2011年4月

K1-ウ



日常のちょっとした事を描きとめ、イラストやテープなどいろいろなもので手を加え表現する。その方法がたくさん詰まっている本。

著者のあとがきに「描きとめて、ストックしたら、ノートは過去と今をつないでいる、ということに気づきました」とあり、楽しく、ゆとりをもった日々を送ることへのアドバイスがもらえる。

### ものづくりを仕事に しました。

女性クリエイター  
15人ができるまで

田川 ミユ【著】  
雷鳥社  
出版年：2007年10月

J2-タ



みんな「ものづくり」が好き。それを趣味で終わらせず、仕事として成り立たせるには「好き」だけでは続かない。これを読むと彼女たちのそういった決心と責任感が感じられ、相手を常に考えて仕事を続けている姿に、趣味との違いがみえる。「一人で楽しむ」から「広げたい」人におすすめの一冊。

### 女職人になる

鈴木 裕子【著】  
アスペクト  
2005年11月

J2-ス



この本の女職人たちは自分の手で門をたたき、「男社会」といわれる世界に入った。収入や「女性」のメリット・デメリット、将来性も掲載されており、職人をめざす人に役立つ内容になっている。「自分らしく生きるために」諦めない。そんな言葉が伝わってくる。

ローズWAM  
DVD  
上映会

## ローズWAMでは毎月 DVD上映会を行います。

※ 詳細は広報・チラシ等でご確認ください。注：12月は開催しません。

7月25日(金) **アニメ** おまえうまそうだな

(7月5日(土)から電話受付)

8月27日(水) **邦画** ミラクルバナナ

(8月4日(月)から電話受付)

時間 午後1時30分から

場所 ローズWAM4階 404.405

対象 市内在住・在勤・在学者

一時保育 1歳から就学前児

(定員有、7日前までに要予約、有料、市内在住者のみ)

定員 各回25人

費用 無料

9月は  
ローズWAMシアター開催!  
(地下2階WAMホールにて)

お問い合わせ

茨木市立男女共生センターローズWAM  
☎ 620-9920

WAM  
白景 わむ ひゃっけい ④



ローズWAMに来られた方なら、「WAMの建物、変わった?」と思われる方も多いのでは。

これは茨木市が「若手芸術家育成事業 <sup>ハブ</sup> IBARAKI ART COMPETITION」として、昨年市内 <sup>イバラキ</sup> 7の公共施設を利用して茨木の明日を担う若手アーティストの発掘と発表の場を提供することにより、人と人の世代を超えた交流を促し、地域の芸術文化発展に貢献できることを目的に行われたものです。

ローズWAMには、今回の特集にも登場いただいた市内在住の藤本絢子さんが選ばれました。展示は9月初旬までの予定です。お立ち寄りの際はぜひご覧ください。